

洪水からみなさまの暮らしを守る

VOL. 14【最終号】

あさがわけさどく 厚狭川激特だより

はじめに

厚狭川激特だよりは、「厚狭川河川激甚災害対策特別緊急事業」等に関する取り組み状況などの情報をお知らせするために発行するものです。

今年度、これまで進めてきた「激特事業区間」の工事が完了しましたので、ご理解・ご協力いただいた地域の皆様に、「事業の概要」、「整備状況」などについてご報告します。

平成22年7月豪雨災害

平成22年7月10日より梅雨前線の停滞に伴い、断続的な大雨が降り続けました。さらに、7月15日未明から朝にかけては、県西部を中心に局地的な集中豪雨に見舞われました。

この豪雨は美祢市東厚保で総雨量588ミリを記録し7月の平年の月降水量の1.5倍を超える大雨となりました。

この豪雨により、厚狭駅周辺の地域においては、厚狭川や支川の桜川などが氾濫したことにより、多数の家屋の浸水や、交通網の寸断、水道施設の被災による大規模な断水等の被害が発生しました。



厚狭川周辺の氾濫状況（上空写真）

事業の概要

これを受け、山口県では、平成22年7月の豪雨規模の洪水による浸水被害の軽減を目的として、平成22年度から厚狭川、桜川の「激特事業区間」において、河道の掘削および拡幅、排水ポンプの増設等の取り組みを進めてきました。

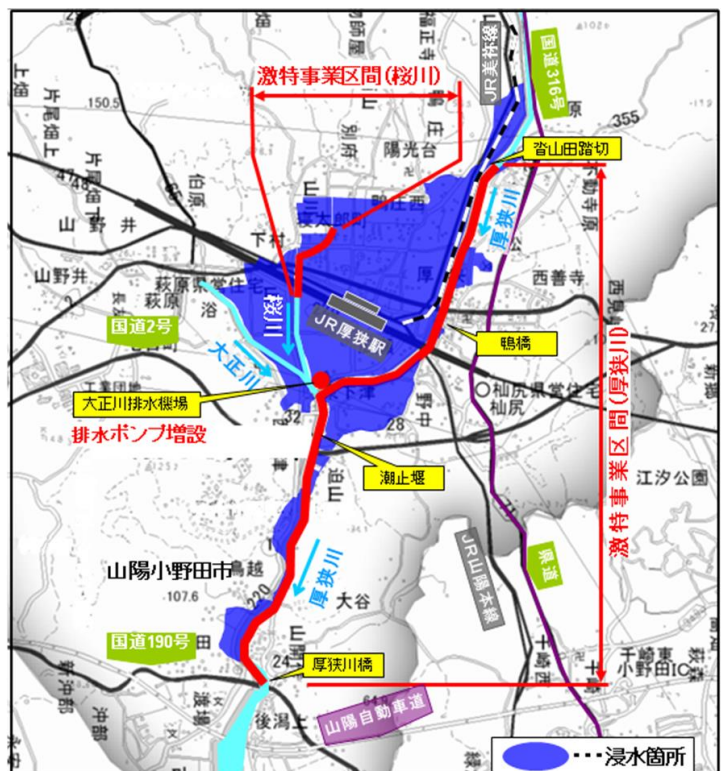
【事業区間】

〈厚狭川〉 約5.7km
（国道190号厚狭川橋からJR美祢線沓山田踏切付近まで）

〈桜川〉 約0.7km
（JR山陽新幹線下流から上流約0.7kmまで）

【事業内容】

河道掘削、築堤、護岸、橋梁、排水ポンプの増設等



激特事業区間

整備状況

<厚狭川>

厚狭川では、河道掘削を行うとともに、東下津～殿町では堤防嵩上げを、鴨橋周辺では河道拡幅を行いました。地域の皆様に愛されていた鴨橋は、その歴史的な姿を後世に伝えるため、照明や高欄に工夫を凝らしながら、4本あった橋脚を2本にするなど、治水上の安全も確保しました。



河道拡幅・鴨橋架替

<桜川>

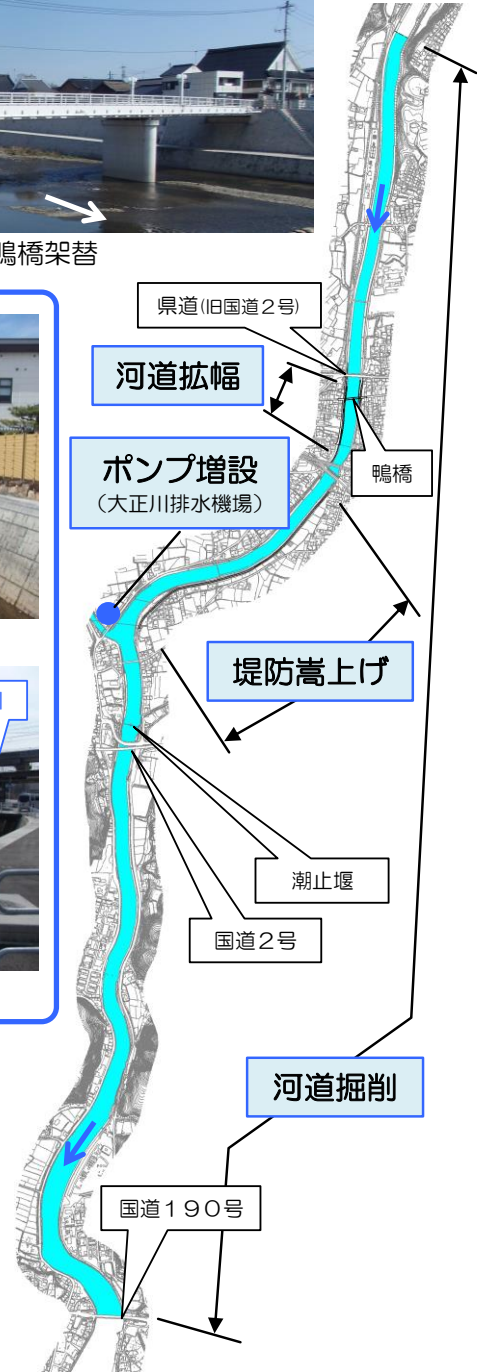
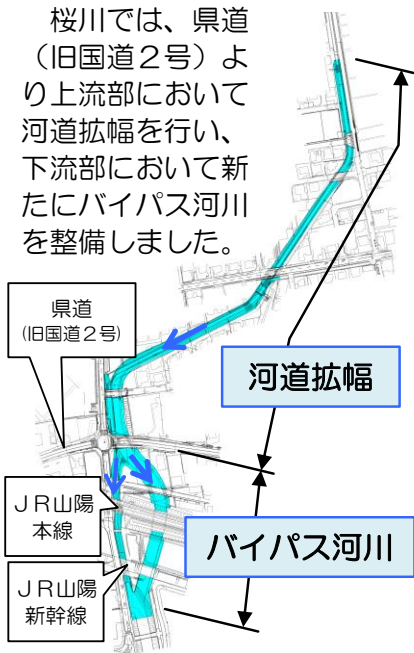
桜川では、県道（旧国道2号）より上流部において河道拡幅を行い、下流部において新たにバイパス河川を整備しました。



河道拡幅



バイパス河川の整備



<大正川排水機場>

平成12年に稼働を始めた大正川排水機場では、新しいポンプを2基設置し計3基となり、排水能力がこれまでの3倍になりました。



大正川排水機場

おわりに

地域の皆様には、工事中の騒音・振動や工事用車両の通行、また通行止めや迂回路通行といった通行制限など、長期に渡り、大変ご迷惑をおかけしました。皆様のご理解・ご協力のおかげをもちまして、工事を完了することができましたことに感謝申し上げます。

今後、厚狭川において「激特事業区間」より上流の整備に努めてまいりますので、引き続き、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

《 お問い合わせはこちらまで 》

山口県宇部土木建築事務所 〒755-0033 宇部市琴芝町 1-1-50
 TEL 0836-21-7125 FAX 0836-22-5231

